

<p>県民・民間団体の 取組への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生が家庭で日常的に取り組める、温暖化防止につながる行動例を示したリーフレットを15,000部配布し、その取組結果を報告してもらうことにより、行動を習慣づけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業において使いやすい形に配慮し、子どもが家族とともに活動を行うことができる内容のリーフレットの作成、配布を行う。
<p>事業者の取組の 促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境新技術導入促進事業として、県内中小企業等が開発した「循環型社会づくり」や「環境保全」に資する技術・製品を募集し、広く県民に広報するとともに、県公共事業で5社5技術・製品を採用した。 ・ぐんま新技術・新製品開発推進補助金により、県内中小企業の技術開発を支援することで、各企業の競争力を高めるとともに、環境負荷の低い製品や技術の開発に関する積極的な取組を後押しした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぐんま新技術・新製品開発推進補助金については、制度の見直しを継続し、環境・新エネルギー産業をはじめとした開発研究を引き続き積極的に支援する。
<p>行政が行う 自主的取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「群馬県地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」に基づき、県事務・事業に伴う環境負荷の一層の低減に向けた取組を行った。 ・東日本大震災後、エネルギー情勢が大きく変化したことから、「群馬県地球温暖化対策実行計画」を改定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県有施設長寿命化指針を踏まえ、中小規模施設は省エネルギー改修を実施し、エネルギーを大量に消費している施設は、E S C O事業を順次導入する。

事業	事業の必要性				将来像の実現、目標に対する貢献度				成果・活動指標の傾向評価			事業の手法・効率性			
	A：状況が増大して変化等により必要性が	B：従前と比べての必要性が	C：状況は後退している	D：目的を達成し、必要性は薄れている	A：予定を上回る効果	B：ほぼ予定通りの効果	C：予定を下回る効果	D：現時点で判断できない	A：全体として目標に向かっている（改善傾向）	B：全体として厳しい状況（悪化傾向）	C：横ばいの傾向	A：概ね妥当と考える	B：部分的見直しが必要	C：大幅な見直しが必要	D：廃止・休止の方向
環境アドバイザー制度		○				○					○	○			
ぐんま環境学校(エコカレッジ)		○				○					○	○			
森林学習センター運営	○					○					○	○			
緑化センター運営	○				○				○			○			
ぐんま緑の県民基金事業(森林環境教育指導者養成)	○					○					○	○			
尾瀬学校充実プログラム		○				○				○			○		
移動環境学習車「エコムーブ号」の運営		○				○					○		○		
尾瀬学校		○				○				○			○		
緑の少年団育成		○				○					○	○			
小中学生のためのフォレストリースクール		○				○				○		○			
こども環境白書		○				○					○		○		
環境情報ホームページ「ECOぐんま」		○				○				○		○			
ぐんま環境フェスティバル		○				○					○	○			
ストップ温暖化県民アクション推進		○				○				○		○			
レジ袋削減推進		○				○					○	○			
環境アドバイザー制度		○				○					○	○			
群馬県環境賞		○				○					○	○			
森林ボランティア等推進	○					○				○		○			
ぐんま緑の県民基金事業(森林ボランティア支援)	○					○				○		○			
花と緑のクリーン作戦		○				○					○	○			
多面的機能支払交付金		○				○				○		○			
環境GS認定制度	○					○				○			○		
ISO14001認証取得の推進		○						○		○		○			
環境調和型畜産振興特区の推進		○				○					○	○			
環境新技術導入促進		○				○					○	○			
ぐんま新技術・新製品開発推進補助金		○				○					○		○		
地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の推進		○						○		○		○			
計(27事業)	6	21			1	24		2	12		15	21	6		

○関連する主な指標

指標名(状態)	計画前のデータ		最新のデータ		めざす方向	備考
・動く環境教室受講者数	2009	5,095 人	2014	4,619 人	10,000 人	2013から子ども版のみとしたため目標数値変更
・ストップ温暖化県民アクション報告者数	2009	12,707 人	2014	5,870 人	5,000 人	
・環境アドバイザー登録者数	2009	276 人	2014	292 人	増加	
・森林ボランティア活動・安全講習会等参加者数	2009	257 人	2014	226 人	増加	
・ISO14001認証件数	2009	343 件	2014	399 件	増加	